

# 富津市立保育所自己評価書

( 峰上保育所 )

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和3年4月～令和4年2月

令和4年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。	B	衛生面や感染対策を家庭や職員間、嘱託医と連携を図り、気をつけている。事故防止にも更に認識を深め、安全な保育環境の維持向上に努めている。
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	子ども達一人ひとりを保育所職員全体で把握し、安心して過ごせる環境づくりに努めている。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	B	子ども達の「やってみよう」気持ちにしっかりと向き合い一人ひとりに合った援助を行っている。
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。	A	子どもの気持ちに寄り添い、受け止めることで、信頼関係を気付くことができ、安心感へと繋がることのできている。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	身近な人からの刺激を受け、遊びを工夫したり、友達同士で協力したり、遊びの広がりがみられる。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	子ども同士や保育士とのやり取りの中で相手の思いに気付いたり、伝えたり、代弁したりしながら丁寧なかかわりを心掛けている。
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	A	集団生活の遊びの中で、決まりやルールの大切さを知らせたり、子ども自身が気付けるよう話し合ったりし、自ら守ろうとする意識へと繋がるようにした。
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	B	環境への配慮を行い、遊びを通して子ども達の探索活動への意欲を大切にしている。更に身近な自然に触れる機会を逃さず取り入れていきたい。

	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	日々子ども達の疑問や気づきを大事にし、調べたり試したり、探究心へと繋がっている。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	地域の特性を活かし、自然とのかかわりを深めることができている。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	A	遊びや生活の中で、数や量、文字などに興味関心をもつような活動を取り入れるようにしている。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	子どもが感情や意思を伝えようとすることを保育士は受け止め、言葉の伝え合いを大切にしている。
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	絵本の読み聞かせを通して言葉の模倣を楽しんだり、劇遊びへと繋げたりすることができた。
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	子どもの話したい思いを受け止め、安心して思いを話せる雰囲気作り、子ども達が興味を示すような声かけ等を工夫している。
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	A	生活の中で必要な言葉や使い方、意味などを知らせ、人との繋がりを大切にしている。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	いろいろな素材に触れ、感触を楽しんだり、何かを表現したり作ったりする楽しさを味わうことができている。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	B	リズムや手遊びなど、日々の中で取り入れ楽しんでいるが、季節の歌やわらべ歌を取り入れることで更に季節感を味わうことに繋げていく。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	身近にあるものや、自然の中にあるものへの気づきや疑問を受け止め、子どもの気持ちの表現を引き出すようかかわっている。

	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	それぞれが感じた思いを伝え合い、友達や保育士と共有できたうれしさ、楽しさを味わっている。また、子どもの表情から気持ちを汲み取り、代弁したりしている。
保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	B	保護者の状況に配慮し、個々に支援を行うよう努めている。また今後、保護者へのサポート充実の為に、年1回の面談を2回にするなど改善していきたい。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	日誌や児童票、保育計画などに記録をしている。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	A	保護者の意見を真摯に受け止め、速やかに対応するようにしている。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	B	行事計画に基づいて職員間で話し合いをし、共通理解を図り、取り組んでいる。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	保護者との相互理解を図るよう努めている。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	B	職員間で話し合いをし、計画を立て実施している。また、振り返りをし、次の保育に活かせるようにしている。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A	全職員で守秘義務を守り、個人情報についても取り扱いに十分注意している。
	園内研修を実施している。	A	毎月園内研修を実施し、保育士のスキル向上に繋がっている。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	B	保護者に伝えたいお知らせ、情報を掲示している。 日頃の保育の様子は、ドキュメンテーションを作成し、「保育の見える化」に努めている。